

学習面で思ったことは、まず、先生の授業が分かりやすいということです。わからないところ質問した時には、納得できるまで教えてくれました。実験の設備が豊富で中学生の頃は教科書に載っている実験をし、化学や生物を肌身で感じることができました。また、大学入試について悩んでいた時、担任の先生や進路指導室の先生をはじめ、受験についてプロの先生方が親身になって相談に乗ってくれました。受験直前期には、面接や志望理由書の指導を手厚くしていただきました。同じ大学を受けた先輩方が面接で聞かれたことや面接するときのアドバイスを残してくれました。先生方のご指導や先輩たちの記録はAO入試を受けるときに、とても助けになりました。

中学では囲碁将棋部、高校では硬式テニス部に入っていました。囲碁将棋部では、中学生と高校生と一緒に活動します。部活動に入りたての頃、優しく声をかけてくださったり、一緒に将棋をしたりしました。硬式テニス部では、強豪校ではない分、応援を重視しており、試合の時の声出しなどでチームに力を分け与えていました。どちらの部活動も雰囲気がとても良かったです。思い出に残っている行事は文化祭です。文化祭ではクラスで出し物をします。クラスメイトと協力して完成させるということはとても楽しく、とても良い経験になりました。

中高一貫なので、中学3年の頃から高校の内容の勉強ができ、早めに教科書の内容が終わり、演習に入ることができます。特に、数学はそのおかげで練習をたくさんでき、自分の抜けているところを確認することができました。私の周りには高い目標に向かって努力している友達がたくさんいました。そんな友達と会話したり、頑張っている姿を見て、自分ももっと頑張らなくてはという気持ちになりました。共に切磋琢磨しあえる仲間がいるということも茨中、茨高の良いところだと思います。

東北大学薬学部では大学3年次で薬学科と創薬化学科のどちらに進むか決められます。大学入学後の最初の2年で基礎を学び、研究室を見学して教授の方々や先輩方の話を聞き、進路を決めたいと思います。そして、将来、製薬会社で研究員として働く、もしくは薬剤師としてチーム医療の一員となり、患者さん1人1人にあった薬を提供し、安心させられるような薬剤師になりたいと思います。